

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No213号 2012.11.03
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

高裁勝利に向けて・控訴理由書を解く！シリーズ⑤

不当労働行為意思による解雇だった

人員削減目標は達成していたのに、達成していないとして165名を解雇したのは、何としても解雇したい人がいたからです。長年の分裂労務対策により、数々の不当労働行為が行われて来た日本航空ですが、最後に破綻に乗じて整理解雇を強行したのです。

組合の役員をターゲットに！

今回解雇された人の中には、航空連の現役議長を含めた3名の歴代議長、日乗連議長、安全会議議長、また、機長組合や乗員組合、CCUの役員経験者が多くいました。

ILO条約では、組合役員を解雇するのは条約違反です。

一挙にCCUの弱体化も意図！

年齢で解雇された人の90%はCCU組合員でした。CCU組合員の人たちは長い間昇格差別を受けていました。そのため管理職に昇格できず、一般職のままです。長い間差別によって第2組合を擁護してきた会社は、第2組合出身の管理職を一人も解雇せず、CCU組合員の人たちを狙い撃ちにしました。

第2組合のJALFIOは、解雇直前に、労働協約を変更し整理解雇は「合意事項」から「協議事項」にしました。つまり協議さえすれば会社には決定権があるというふうに変えたのです。

人員削減目標を上積みし、未達を狙った会社

機長の削減目標人数は達成していたにも関わらず、途中から削減目標を増員しました。客室乗務員についても、会社は2010年9月28日になって突然、削減目標数573名を662名へと89名も上乗せしてきました。また深夜勤務免除者や欠勤者などが辞めても、0人としか換算しない計算方法(稼働ベース論)を持ち出し、希望退職数がなかなか目標に到達しないよう画策しました。

当初の削減目標
573名

稼働ベースでは、
517名

意図的に



662名へ増加

稼働ベースでは606名



上積みしなければ目標を達成し、解雇されることもなかったのに。

突然上積みされて

しかも稼働ベースを持ち出された！